

授業概要

大学での学びは、高校までとはまったく異なります。どの授業においても、教員が初めから「答え」を与えてくれるわけではありません。大学では、考えるべき問題を決めるのも、そこから答えを導き出すのも、基本的に自分の力で行わなければなりません。考えるための様々な方法や道筋はそれぞれの授業で学んでいきますが、それらすべての学習の土台となる力、すなわちくノートにまとめる力<言葉を使いこなす力><考えをまとめ発展させる力>を1年生のうちに身につけることが何より大切となります。本演習ではそれらの力を養うために、さまざまな基礎的トレーニングを行っていきます。

授業計画

第1回	オリエンテーション（ゼミのすすめ方とメンバーの自己紹介）
第2回	履修計画の立案（時間割の作成。免許・資格取得の流れを理解する）
第3回	他己紹介とインタビューシートの作成（仲間を知り、ゼミに慣れる）
第4回	館内見学・メディアセンターツアー（大学の施設や設備を活用するためのルールを学ぶ）
第5回	ノートのとり方（高校までとは違うノートの作成方法について学ぶ）
第6回	テキストの読み方①基礎編（学術的な文章を読むための練習をする）
第7回	テキストの読み方②中級編（「批判的に読む」という態度について学ぶ）
第8回	レポートの書き方①文章作法（レポートにふさわしい文体や表現を学ぶ）
第9回	レポートの書き方②テーマ設定（課題にそった題材の見つけ方を学ぶ）
第10回	レポートの書き方③情報収集（文献の探し方、情報検索の方法、引用ルールについて学ぶ）
第11回	ゼミ発表を経験する①レジュメの作成（レジュメの作成と報告の形式について学ぶ）
第12回	ゼミ発表を経験する②報告と質疑応答（発表者と聞き手側、双方のマナーを知る）
第13回	ゼミ発表を経験する③プレゼンテーション（パワーポイントを用いた報告に挑戦する）
第14回	テーマディスカッション①議論の提示（議論する際のルールを身につける）
第15回	テーマディスカッション②主張の方法（自分の意見を伝え、議論をとおして鍛える）
第16回	前期の振り返り（学習面や生活面の自己評価を行う）

到達目標

- ・レポート作成やレジュメを用いての報告など、基本的なアカデミック・スキルズを習得する。
- ・課題について自身の考えを文章化し、適切に表現することができる。
- ・仲間と議論することで相手の考えを知り、自分の考えを深めるといった態度を身につける。

履修上の注意

1年次の学生は全員履修します。4年間の大学生活をより豊かに過ごすための、知的基礎体力を初歩から鍛えるプログラムです。自分で考え判断する力を磨き、充実した人生を切り拓く基礎づくりにもなります。休まず積極的に受講して、同級生や先生と交流を深めてください。

なお、必要に応じて校外学習を実施する場合があります。

予習・復習

学習内容をしっかり予習復習することは、より充実した学生生活へとつながります。

評価方法

出席がなにより重要です。そのうえで、毎回の授業態度（30%）やゼミ発表の際の報告内容（30%）、さらに課題の提出状況とその内容（40%）など総合的に判断します。

テキスト

- ・教科書名：『大学生 学びのハンドブック【5訂版】』
- ・著者名：世界思想社編集部編
- ・出版社名：世界思想社
- ・出版年（ISBN）：9784790717492